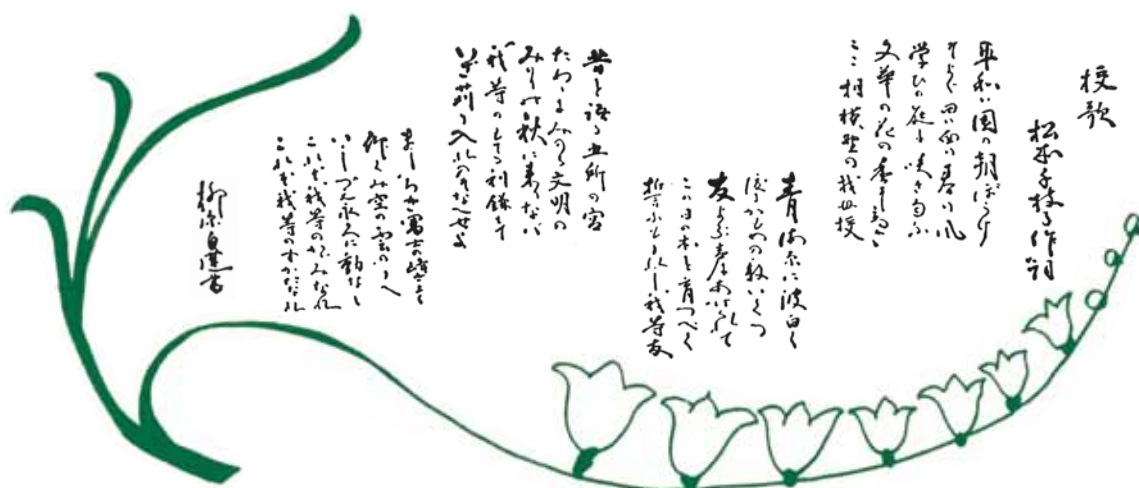


和 敬 會

学祖 松本生太先生 筆

和 敬 会 だ よ り

2015.4.19 発行 17号



鎌倉女子大学和敬会

☎247-8511 鎌倉市岩瀬1420 ☎0467-44-2200

鎌倉女子大学和敬会

検索

昨年来の いくつかの活動



理事長

福井 一光

皆さまお元気にお過ごしのことと存じます。この「和敬会だより」の紙上をお借りし、昨年来の学内のいくつかの動きをご紹介したいと思います。

お正月にはリニューアルした松本講堂がお披露目になりました。これまでと同様の赤地を基調としたシートで、全体の印象は変わらないと思いますが、背もたれに木枠をあしらひ、少しゆったりとした仕上がりになりました。

春にはそれぞれの仕事に資する最新の情報を卒業後も継続的に提供し、終始活用してもらいたいと考え、「鎌倉女子大学 CNS(Communication Networking Service)」という本学限定のソーシャルメディアを立ち上げました。

初夏には恒例の管理栄養士の国家試験の

合格発表がありました。長年にわたる受験生の努力は元より、学科や国家試験対策室の支援もあり、合格者も三ケタ、ほぼ一〇〇%の実績を残しました。

夏には実践女子大学が創設者の下田歌子女士を顕彰する研究所の開設を記念するシンポジウムを開催し、求められて私も他大学の学長先生方と「建学の精神と新しい女子大学の可能性」をテーマとした講演を行いました。各大学、変化の激しい時代、自らの建学の精神を問い返す必要に迫られているようです。

夏季期間を利用して保育教諭特例講座が開かれました。この講座は認定こども園で就業できる人材を育成するため、幼稚園教諭と保育士のどちらか片方しか取得していない人がこの講座を受講することによって、

もう片方の免許・資格を取得できるというものです。多くの受講者の方々の参加をみて、しばらくの間、継続的に開講していかねければと考えています。

秋にはこれも恒例の教員採用試験の合格発表がありましたが、例年以上の高い合格結果を出すことができました。お陰さまで本学の就職率は極めて良好です。

晩秋の学園祭には大船の力フェテリアを利用して和敬会の方々が集まれる場所を設けましたが、それぞれ世代を異にする六〇〇人を超える卒業生が来場して下さり、旧交を温めて下さいました。今年の十一月の学園祭にも同じような場所を用意したいと思っていますので、是非またお誘いあわせの上お越し下さい。

学園こそわが命



学園主

松本 紀子

「幾十度 君聞きにけむ 少女らの校歌は優し 柩いま出づ」
「通ひ路に 公孫樹もみぢの 散り敷けど 君は踏まざり 柩にてゆく」

この短歌は、「故松本 尚先生の御霊に捧ぐ一葬に待りて」と題して養田亨氏の詠まれたもので、折にふれ口ずさみ遠い日思い出しています。

主人は、大正六年（一九一七）十月五日、この世に生を享け、今年は生誕九十七年となります。平成四年（一九九二）、七十五歳の誕生日を迎え同月二十七日に他界しました。

振り返れば、昭和二十五年から学祖夫妻と義兄夫婦と私達夫婦と賑やかに過ごした磯子での生活は、今の私の在り方の根幹となるものでした。叱られたり褒められたり教えて頂いた事も多く、三年後の昭和二十八年四月一日、親子三人でトラックの荷物と一緒にやってきたのが現在の岩瀬の校舎の一角の質素な住宅でした。主人は「学園こそわが命」を座右の銘としていましたが、本当に生活を賭した二十四時間の教育に取り組んでいたのだと思います。ここで四十年、主人を見送って十年、半世紀を過ごしたことになります。思いは幾重にも重なって感じられ、言葉に尽

くす事の出来ない懐かしさで一杯です。

去る十一月十五日、十六日に二十回を記念して行われたみどり祭に本学を理解し応援してくださる卒業生の方々を大勢お迎えしました。

その後、熊本、沖縄でも懐かしい方々にお会いできました。今度は五月二十六日十四時から金沢市アートホールにて講演と歌の会「大庭照子とうたおう花ざかり歌の教室コンサート」に出演します。ご卒業生にお目にかかれるのを楽しみにしています。

（お問合せは日本国際童謡館かながわ 045-562-1950）

新たなり



会長

金子 小夜美

「若さは 年とは関係ない
年では測れない」

この言葉通りに、生き生きと活躍されているたくさんの方の和敬会会員の皆様、お元気にてお過ごしのことと思います。

第一期四年間（平成二三・六～二六・五）の任期を皆様のお力添えで、無事終えることが出来、幹事一同感謝いたしております。

第二期四年間（平成二六・六～三〇・五）の和敬会運営を、新しい方を迎え、下記十五名の幹事で務めさせていただくことになり、平成二六年六月 心新たに出發いたしました。

会長 金子小夜美
副会長 望月 一恵
幹事 渡辺 和恵
大橋 秀子（若林）
加藤 孝子（蒲）
菊池 貞子（飯島）
清水真由美（高木）
鈴木公美子（印南）
富永知佐子
濱名 哲郎
最上千恵子（加藤）
森田 里海（本場）
吉田美智子（若林）
菅原 憲子
荻野須美子（石井）

事務局

荻野須美子（石井）

第二期では「和敬会だより」の発行・支部長会（四年に一回）、各支部への運営補助費（申請した支部へ年三万円）の支給、支部長さん及び支部の方々と連携・同窓会名簿の充実（宛先不明の戻りをなくすこと等）・ホームページの活用・みどり祭に和敬会のブースを開かせていただき、皆様方の交流の場を設ける等、少しずつ活動の内容を深めていく予定です。ゆっくりですが、休まず歩んでいこうと考えています。宜しくお願いいたします。

*事務局の会計として十年間和敬会を支えて下さった荻野須美子さんが一月にご逝去されました。

合掌

みどり

米寿を迎えて



事務局長

菅原 憲子

みどりヶ丘にそそり立つ
わが学び舎の朝ぼらけ
浜の港よ、海原よ
文化の芽をのせてくる
大船・小船 百千船

遠く御親のいさおしを
つたえてここに三千年の
園つ御氏の大いなる
愛の鏡とおわしませ

この歌詞を懐かしい思いで口ずさむ和敬会会員は昭和十九年、あの懐かしいみどりヶ丘の学舎へのゆるやかな坂道を登り、学舎の窓から大船小船の出入れのある横浜港を見はるかしながら

学んだ、当時の校名 京濱女子家政理
学専門学校の一回生・二回生のみで
しよう。

創立の地の学び舎は横浜空襲の戦火
で全焼。戦火の中をくぐり持ち出せた
のは「当時の設置認可書と学籍簿のみ
であつた」と松本尚先生のお話でした。

平和の園の朝ぼらけ
そよぐ田の面の春の風
学びの庭に咲き匂ふ
文筆の花の香ぞ高き
ここ相模野の我母校

鎌倉市岩瀬の、あの石ころだらけで
大雨が降ると沼のようになった校地
も、みどり一色と元氣な学生生徒の
声で賑わっています。



松本尚先生を偲んで

— 23 回忌を迎えて なつかしいお写真と共に — 支部からメッセージ

松本尚先生

(一九一七年～一九九二年)



偲んで感謝

昭和29年度 短期大学部家政科卒業
北海道支部 村川 典子

和敬寮が全焼した時、私達は、松本尚先生宅の離れ座敷に寄宿しました。
尚先生は、毎日帰宅されると、離れの廊下に立って私達の様子を見ておりました。当時は、監視されていると思いいい印象ではありませんでした。

時が過ぎて、尚先生は、苦悩を抱え、焼け出された私達に心を痛め、言葉もなく見守っていらしたと思つてます。
戻られる後姿は「小さかった」と思ひ出しながら感謝しております。

教育の原点

昭和43年度 短期大学部家政科卒業
東海支部 勝呂眞理子

私が在学中は尚先生は副学長でした。京浜女子大の教育は「古く・厳しい・窮屈」と言われていました。高校の時まず1月1日は制服に着替え「元日の式」に出席し尚先生の講話を聞き、「一月一日」を合唱し、けじめのあるすがすがしさは今でも忘れられない事です。各学期の終了日には鎌倉の有名な場所で開催があり足が痺れた事もありました。倫理の授業の時「辞書と雑巾を持つて学べ」と教えられ、しっかり胸に納め短大の教育実習、調理実習に頑張りました。
「なせば成る、成らぬは人のなせぬなりけり」は高校時代から座右の銘です。今小学校の講師をしています。尚先生の「古くて新しく・厳しくて温かく・窮屈というより規則正しい」教育が原点です。



忘れられない あの時

昭和29年度 短期大学部卒業
信越支部 杵鞭 悦子
(旧姓横山)

シャージュ・シャージュ、「あ、消えたね。」昭和29年12月1日だったと思います。和敬寮が火事になった時のことです。私達四、五人で、風呂場のお湯をかけて、消していたのです。煙の匂いがして来ました。部屋へ行くとうすると、煙で何も見えません。外へ出ました。パッと窓から火が出たのです。

「早く、早く外へ出る。」みんな、無事か。「家へ来なさい。」寮生を確認して下さったのでしょうか。

次の朝、父が来てくれました。いつの間にか、連絡があったのです。驚きでした。こんなに温かい、思いやりが、尚先生ご夫妻の姿だったのです。

なせば成る

昭和32年度 短期大学部家政科卒業
関西支部 北川 幸恵
(旧姓鈴木)

58年前、京浜女子大に入学して一番の想い出は、先生方の親切でやさしい対応でした。全国北は北海道、南は沖縄より大勢の人が入学して皆友達になって助け合ったこと、和やかな楽しい思い出ばかりです。松本先生は道徳や心理など人生に大切なこと、女性としての矜持の点が厳しかったです。

私は尚先生を「富士山」と思い、私達は「三保の松原」で力を出し合つて行事にとり組んできました。「若い時の苦労は買ってでもしなさい」「人に親切にすればよい事が返ってくる」先生の教え通りです。三島から大船まで毎日通学して頑張った成果がありました。今幸せな人生を送ることが出来て非常に嬉しい限りです。松本先生ありがとうございました。

展示サロンで タイムスリップ

昭和46年度 家政学部児童学科卒業
中国・四国支部 山本 明美
(旧姓矢部)

平成22年10月10日、和敬会総会の翌日、紀子先生が図書館棟1F展示サロンへご案内下さいました。尚先生の写真の前で、懐かしいお顔を拝見していると、約40年前の学生時代にタイムスリップしたように錯覚いたしました。お優しい尚先生はよく私達、寮生のことを気にかけて下さいました。親元を離れて不自由していませんか？と。寮生を自宅に呼んで、夕食をご馳走して下さいました。ありがとうございました。囲碁部を発足したことや、岡山への墓参の際、必ず声をかけていた。いたことなど、展示サロンでゆつくりとした思い出深い時間を過ごしました。

きびしくて、やさしい ご指導に感謝

昭和37年度 家政学部家政学科卒業
北陸支部 野田志津子
(旧姓藤田)

岩瀬の地を離れて、はや半世紀以上すぎました。

入学しました当時は緑のジュータンのような水田にこまれ、夕方からは、蛙の合唱を聞き、癒されていました。

ある日、修学旅行生が鎌倉市内を見学していた時、台風で立往生となり、尚先生を先頭に寮生一丸となって、夜のことでしたが、大量のおにぎり炊き出しに協力、教育の実践でした。又、きびしい教育の中に「左手に辞書・右手に雑巾」。これからの女性には、専門知識等を修得しなければならぬと諭して下さいました。校門の左側で図書館の竣工式に柳原白蓮先生も参列されていたことも、思い出しています。しばらくして、富山県の職員として永く勤務出来て、無事退職できましたのも、鎌倉の地で育てていただいたものと感謝致しております。



先生の 優しさに触れて

昭和39年度 短期大学部家政科卒業
九州支部 武藤 隆子
(旧姓矢野)

もう、50年前のことになります。
ある時、尚先生から鎌倉にある知的障害の子供達の家に行つて時々遊んであげてはどうかというお話があり、私達は三、四人でそこに行き、五、六人の子供達と一緒に遊んだ記憶があります。ここは、障害児のお母さんが自分の家を開放されたようでした。

尚先生は、少しでも協力できればと私達に声をかけて下さったのです。暇な私達は喜んで、子供達の所へ行き、楽しく笑って遊んだことがなつかしく思い出されます。

今、思いますと、先生の子供達への愛情ややさしさは、自然な形で気持を表現されていたことに気づきました。
先生に学んだこと、これからも大切にしたいと思っています。

「第二回支部長会」を開催

平成二十六年六月十七日、岩瀬キャンパスの会議室において四年ぶりに「支部長会」を開催しました。北海道・信越・東海・中国四国・九州支部から八名、和敬会幹事十三名が集いました。金子会長の挨拶のあと改修工事が行われた「松本講堂」を張ヶ谷施設課長様より説明して戴きました。ゆったり



した椅子、壁の張り替え、照明器具も新しくなり、ますます美しく立派な講堂に生まれ変わっていました。

会議室に戻り鎌倉女子大のホームページ（HP）内に新設された「和敬会」のHPを副会長より説明。皆様も是非一度ご覧ください。

次に各支部から自己紹介のあと近況報告と問題点をあげて戴きました。各支部共に支部会への参加者が少ないことが共通の問題点でした。会員増をどのように行うか今後の課題です。皆様、支部長に連絡をして戴き支部会の活性化にぜひご協力ください。支部長の連絡先は下記にてご確認ください。



今回の支部長会は検討の結果、四年後の秋頃と決定しました。昼食後は本館正面玄関前で記念撮影。皆さん学生に戻ったように素敵な笑顔でした。

学校のご厚意によりスクールバスで山ノ内学舎を見学、今井施設部長様より説明して戴きました。一部の支部長のご希望で大船キャンパス巡りも行いました。学生時代を思い起こしながら懐かしい思い出話は尽きず、あつという間に時は過ぎました。

遠方より参加くださいました各支部の方々、ありがとうございました。次回四年後も宜しく願います。

支部長会での中「みどり祭」に「和敬会」も参加したいとの意見が出ました。二十六年十一月十五・十六日、学校側のご配慮で急遽「二十周年」の記念の年に和敬会は「カフェ」をオープンしました。卒業生はもとより先生方も多数お寄りくださり、ミニ同窓会があちらこちらで開かれました。二日間約六百名、飲み物と懐かしの鳩サブレで楽しんで戴けたと思います。本年の「みどり祭」には、ぜひ「カフェ和敬会」でおくつろぎ下さいませ。

幹事 菊池 貞子

支部会たよりはお休みしました。次回（4回）北陸支部です。宜しくお願いします。

平成25年度 和敬会収支決算書

収入の部

費 目	金 額
同 窓 会 費	6,655,500
預 金 利 子	1,928
雑 収 入	4,700
前年度繰越金	6,629,368
合 計	13,291,496

支出の部

費 目	金 額
事業費	
和敬会便り出版費	5,439,237
支 部 費	247,757
運 営 費	541,340
事 務 費	904,000
設 備・備 品 費	0
通 信・連 絡 費	24,939
消 耗 品 費	15,360
会 館 準 備 費	0
総 会 準 備 費	0
慶 弔 費	31,500
そ の 他	4,200
支 出 合 計	7,208,333
繰 越 金	6,083,163
合 計	13,291,496

以上収支決算について公正、妥当であると認め、相違ないことを報告いたします。

平成26年9月3日

監事

吉崎 陽子

監事

河西 恵子

シリーズ人

社会で活躍されてる卒業生

皆様、こんにちは。



繋がる想い

昭和60年度 家政学部児童学科卒業

児童養護施設
静岡県川奈臨海学園 施設長

竹居 昭子（旧姓沼田）

となり、最終的な責任を持つての印を押させていただいております。今後も実習にみえます後輩の皆様のこともあたたかく見守りたいと思っております。

み、職員の配置をはじめとする制度改革の実現にむけての取り組みと課題をたくさんかかえています。

児童養護施設は、子どもたちの人権、最善の利益を守るため、社会的使命として、その経験や専門性を最大限活かすこと、引き続き積極的に地域貢献に取り組むことが必要とされていきます。

これから、鎌倉女子大学の建学の精神である「感謝と奉仕」をしっかりと心に刻み、子どもたちのため、地域のために尽力したいと考えております。

学園に勤め、10年ほどして、実習生担当となり、受け入れ、指導助言、反省会、評価表作成をしました。（実は、私も大学3年生の夏に同学園で施設実習をしました。）そして、今、施設長

大学時代の友人とも交流は続いております。お互いの様子を報告しあい、励まされ、活力をもらっています。

家庭的養育の推進に向けての取り組み

鎌倉女子大学の益々の発展と和敬会員皆様のご多幸を、祈念申し上げます。

計 報

下 司 智 子 先生

教諭・社会科 ご担当

平成二十六年 四月十一日 ご逝去

箕 原 實 先生

教授・児童福祉 ご担当

平成二十六年 七月十四日 ご逝去

西 川 美代子 先生

教授・音楽 ご担当

平成二十六年 七月十五日 ご逝去

ご冥福をお祈りいたします

お誘い
みどり祭
「カフェ和敬会」

第21回鎌倉女子大学学園祭

岩瀬キャンパス

中・高等部 9月12日（土）
13日（日）

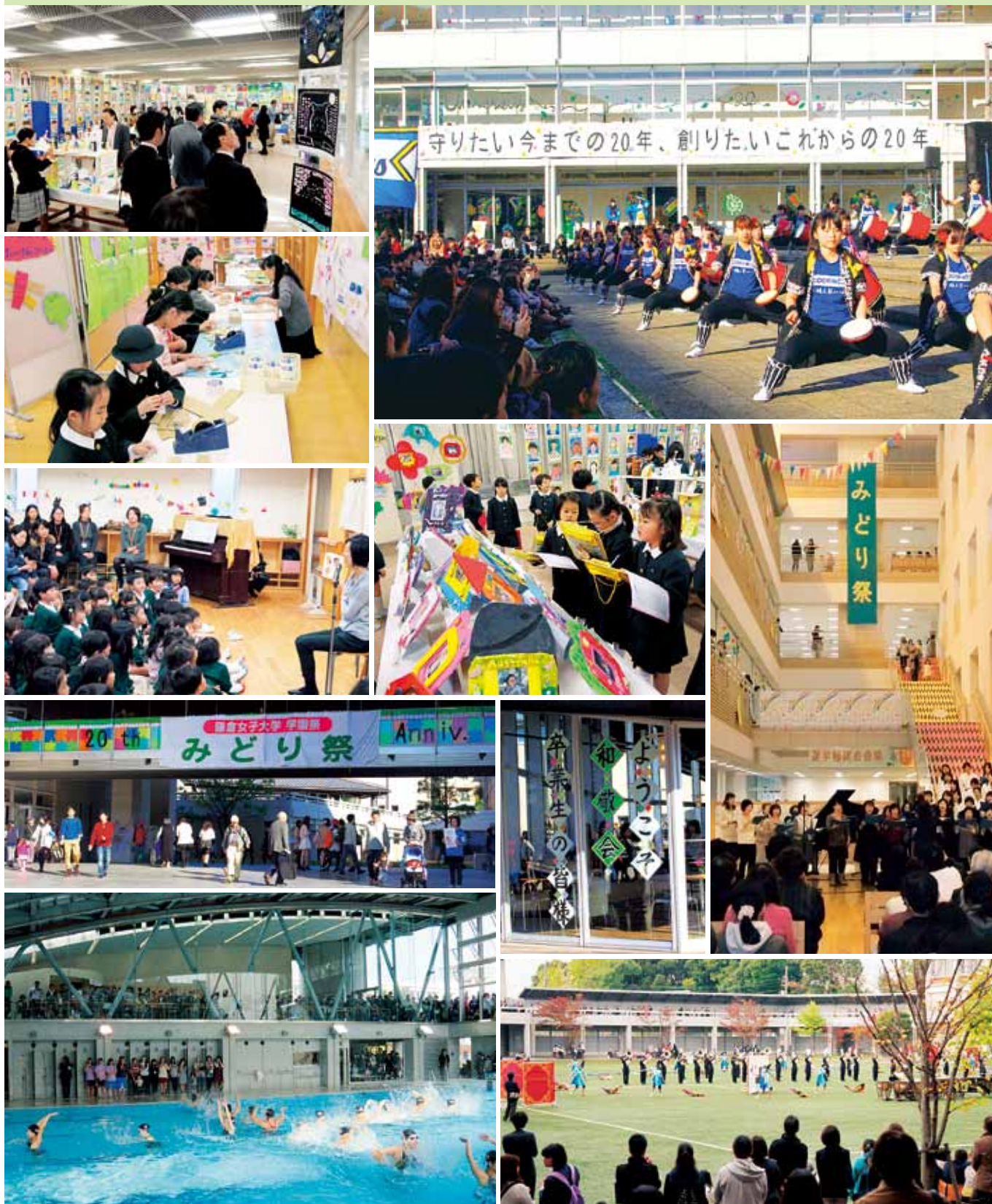
幼・初等部 11月7日（土）
8日（日）

大船キャンパス

短・大学 11月14日（土）
15日（日）

「カフェ和敬会」は大船キャンパスに参加します。お誘い合わせのうえぜひおこし下さい。

第20回鎌倉女子大学学園祭



鎌倉女子大学

大船キャンパス

大学院

大学 家政学部 児童学部 教育学部

短期大学部

〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111 (代表)

JR「大船駅」下車、徒歩8分

岩瀬キャンパス

高等部

中等部

初等部

幼稚部

〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200 (代表)

JR「大船駅」下車、バス約10分